

令和6年度特別展

# と・YAMATAI 国

弥生時代の富山へタイムスリップ

入館  
無料

令和6年

10/4 (金)

令和7年

1/23 (木)

【開館時間】 9:00~17:00

【休館日】 金曜日・12/28(土)~1/5(日)

考古学の博物館  
富山県埋蔵文化財センター

〒930-0115 富山県富山市茶屋町206-3 TEL 076-434-2814 / FAX 076-434-2859



# と・YAMATAI 国

今からおよそ 1800 年前、日本に倭国<sup>わこく</sup>という連合国がありました。  
倭国を治めた女王卑弥呼<sup>ひみこ</sup>は、邪馬台国<sup>やまたいこく</sup>という都で暮らしていました。

その邪馬台国は一体どこにあったのが。九州か近畿か、それとも全く違う別の場所が…。

現在もなお解明されず、所在地論争が繰り広げられています。

その頃、富山には一体どのような国があったのが。

“と・YAMATAI 国”の様子を見に行きましょう。

## 展示構成

### 第Ⅰ章 弥生時代のイメージ

弥生時代について、どのようなイメージを持っていますか。  
教科書には、大陸から伝わってきた稲作を行い、  
銅鐸や銅矛などの青銅器で祭りを行う  
人々の姿が書かれています。  
そして女王卑弥呼が治めた邪馬台国があったのも、  
弥生時代の終わり頃です。  
弥生時代について、もう一度おさらいしましょう。



小型仿製鏡  
(上市町中小泉遺跡)



木製短甲  
(高岡市江尻遺跡)

### 第Ⅱ章 弥生時代の富山 “と・YAMATAI 国”

発掘調査によって明らかとなった  
富山の遺跡(と・YAMATAI 国の村)を  
紹介します。  
縄文人の村、米作りの村、玉造りの村、  
農耕の村、祭りの村…  
それぞれに特徴的な富山の村の姿と、  
第Ⅰ章で見てきた弥生時代の  
イメージを比較し、  
弥生時代のギャップに迫ります。



玉類  
(高岡市下老子笹川遺跡)



祭りの道具  
(氷見市惣領浦之前遺跡)

## 記念講演

### 弥生時代から古墳時代への 変革と青銅器の生産・流通

講師：岩本 崇 氏

(島根大学法文学部考古学研究室准教授)

日時：令和6年10月27日(日)

13:30~

場所：当センター会議室

### 出土イネが語る

### 日本と北陸の歴史

講師：上條 信彦 氏

(弘前大学人文社会科学部文化財論教授)

日時：令和6年11月10日(日)

13:30~

場所：当センター会議室

### トヤマ弥生の

### イエ、ムラ、クニ

講師：岡本 淳一郎

(富山県埋蔵文化財センター調査課長)

日時：令和6年12月15日(日)

13:30~

場所：当センター会議室

## 考古学の博物館 富山県埋蔵文化財センター

〒930-0115

富山市茶屋町206-3

TEL 076-434-2814

FAX 076-434-2859



ホームページ



X



■ 駐車場あり(無料)

■ JR富山駅から

富山地铁バス

高岡・小杉方面行き「呉羽山公園」下車……………徒歩5分

北代循環「県立図書館前」下車……………徒歩1分

市内電車

富山大学方面「富山大学前」下車……………徒歩25分

タクシー……………15分

■ あいの風富山鉄道呉羽駅から

徒歩……………20分

タクシー……………5分